

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成29年6月15日 (2017.6.15)

【公表番号】特表2016-527584(P2016-527584A)
 【公表日】平成28年9月8日 (2016.9.8)
 【年通号数】公開・登録公報2016-054
 【出願番号】特願2016-513003(P2016-513003)
 【国際特許分類】

G 0 6 Q 50/06 (2012.01)

H 0 2 J 13/00 (2006.01)

【F I】

G 0 6 Q 50/06

H 0 2 J 13/00 3 0 1 A

【手続補正書】

【提出日】平成29年4月21日 (2017.4.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ビジネス顧客のためにリソース性能を追跡するコンピュータで実行される方法であって、

顧客にリソースを提供するユーティリティ事業体の前記顧客に関連するリソースの使用量を記述した使用量データをプロセッサによって受信するステップであって、前記使用量データは、複数の隣接する期間における前記リソースの使用量についての情報を含み、各期間は、約 6 時間を下回り、使用量データは、顧客の事業所で計量されている、ステップと、

事業所が客に対して開いているときの時刻を記述した情報を含む事業所の操業を記述する操業データをプロセッサによって受信するステップと、

受信された使用量データおよび受信された操業データを用いて事業所のリソース性能データをプロセッサによって決定するステップであって、前記リソース性能データは、(i) 客に対して開いているときの時刻中の事業所におけるリソースの使用量および (i i) 客に対して閉じているときの時刻中の事業所におけるリソースの使用量についての情報を含む、ステップと、

リソース性能データの顧客への報告を、プロセッサによって生成するステップと、を含む、コンピュータで実行される方法。

【請求項 2】

前記リソース性能データは、前記事業所での、前記客に対して開いているときの時刻と前記客に対して閉じているときの時刻との間の前記リソース使用量の比較をさらに含む、請求項 1 に記載のコンピュータで実行される方法。

【請求項 3】

前記操業データを受信するステップは、ローカルディレクトリサービスのプロバイダから前記操業データを受信するステップを含む、請求項 1 に記載のコンピュータで実行される方法。

【請求項 4】

前記操業データを受信するステップは、前記操業データを前記ビジネスの電子出版物か

ら導出するステップを含む、請求項 1 に記載のコンピュータで実行される方法。

【請求項 5】

前記操業データを受信するステップは、前記ビジネスの出版物より前記操業データを導出したソースから操業データを受信するステップを含む、請求項 1 に記載のコンピュータで実行される方法。

【請求項 6】

前記操業データを受信するステップは、前記事業所の操業時間のデータベースを維持する第三者サービスプロバイダから前記操業データを受信するステップを含む、請求項 1 に記載のコンピュータで実行される方法。

【請求項 7】

前記操業データを受信するステップは、前記事業所が客に対して開いているときの操業の時刻を記述した情報を含む前記操業データを、受信された前記使用量データに基づいて決定するステップを含む、請求項 1 に記載のコンピュータで実行される方法。

【請求項 8】

類似事業所のリソース性能データをプロセッサによって受信するステップと、
前記顧客の前記リソース性能データと併せ、前記類似事業所のリソース性能データの前記顧客への報告をプロセッサによって発行するステップと、
をさらに含む、請求項 1 に記載のコンピュータで実行される方法。

【請求項 9】

前記リソースの第 1 の価格についての情報と第 1 のリソース価格に関連する第 1 組の時刻と前記第 1 の価格より高い前記リソースの第 2 の価格と第 2 のリソース価格に関連する第 2 組の時刻とを含む、前記リソースの価格データをプロセッサにより受信するステップと、

前記価格データおよび前記操業データに基づき高価格の時間をプロセッサにより決定するステップであって、前記高価格の時間は、前記事業所が客に対して開いている時刻が前記第 2 のリソース価格に関連する前記時刻と重複するときの時刻である、ステップと、

前記高価格の時間中における前記リソースの使用量の事前に定義された部分が、前記事業所が客に対して閉じているときの時刻に移された場合に実現されるであろう節約をプロセッサにより推定するステップと、

前記推定された節約の前記顧客への報告を、前記リソース性能データの顧客への報告と併せて、プロセッサにより生成するステップと、

をさらに含む、請求項 1 に記載のコンピュータで実行される方法。

【請求項 10】

リソースを顧客に提供するユーティリティ事業体の前記顧客による前記リソースの使用量を報告するコンピュータ化された方法であって、

第 1 の事業所を記述する特性データをプロセッサによって受信するステップであって、前記特性データは、前記第 1 の事業所の少なくとも 1 つの専門分類を含む、ステップと、

複数の第 2 の事業所を記述する特性データをプロセッサによって受信するステップであって、前記特性データは、前記複数の第 2 の事業所の各事業所それぞれの少なくとも 1 つの専門分類を含む、ステップと、

前記複数の第 2 の事業所の少なくともいくつかによるリソースの使用量を記述する使用量データをプロセッサによって受信するステップであって、前記リソースは、ユーティリティ事業体によって提供される、ステップと、

前記複数の第 2 の事業所から、複数の選択された第 2 の事業所をプロセッサによって選択するステップであって、その結果、選択された第 2 の事業所のそれぞれが、前記第 1 の事業所の第 1 の専門分類に等しい第 1 の専門分類を有する、ステップと、

前記複数の選択された第 2 の事業所の数が所定の値を下回る場合に、前記複数の第 2 の事業所から選択された追加的に選択された事業所でプロセッサにより前記複数の選択された第 2 の事業所を増補するステップであって、その結果、それぞれの追加的に選択された事業所が、前記第 1 の事業所の第 2 の専門分類に等しい第 2 の専門分類を有し、前記第 2

の専門分類は、前記第 1 の専門分類とは異なる、ステップと、

前記第 1 の事業所による前記リソースの使用量を記述する使用量データと前記複数の選択された第 2 の事業所の少なくとも 1 つの事業所による前記リソースの使用量を記述する使用量データとを含む報告をプロセッサによって生成するステップと、

を含む、方法。

【請求項 1 1】

前記第 1 の専門分類は、第 1 の市場特性に対応し、前記第 2 の専門分類は、第 2 の異なる市場特性に対応する、請求項 1 0 に記載のコンピュータ化された方法。

【請求項 1 2】

前記第 1 の専門分類は、第 1 の N A I C S コードに対応し、前記第 2 の専門分類は、第 2 の異なる N A I C S コードに対応する、請求項 1 0 に記載のコンピュータ化された方法。

【請求項 1 3】

前記第 1 の専門分類は、第 1 の S I C コードに対応し、前記第 2 の専門分類は、第 2 の異なる S I C コードに対応する、請求項 1 0 に記載のコンピュータ化された方法。

【請求項 1 4】

前記第 1 の専門分類は、第 1 の下位専門分類に対応し、前記第 2 の専門分類は、第 2 の異なる下位専門分類に対応し、前記第 1 の専門分類は、前記第 1 の下位専門分類に階層的に関連する、請求項 1 0 に記載のコンピュータ化された方法。

【請求項 1 5】

第 1 の事業所のリソース性能の報告であって、

前記第 1 の事業所が客に対して開いている時刻中における前記第 1 の事業所での第 1 のリソース使用量を表す第 1 の図要素と、

前記第 1 の事業所が客に対して閉じている時刻中における前記第 1 の事業所での第 2 のリソース使用量を表す第 2 の図要素と、

前記第 1 のリソース使用量の前記第 2 のリソース使用量に対する比較を表す第 3 の図要素と、

を含む、報告。

【請求項 1 6】

第 2 の事業所が客に対して開いている時刻中における複数の第 2 の事業所による第 3 のリソース使用量を表す第 4 の図要素と、

前記第 2 の事業所が客に対して閉じている時刻中における前記複数の第 2 の事業所による第 4 のリソース使用量を表す第 5 の図要素と、

前記第 1 のリソース使用量の前記第 3 のリソース使用量に対する比較を表す第 6 の図要素と、

をさらに含む、請求項 1 5 に記載の報告。

【請求項 1 7】

請求項 1 ～ 1 4 のいずれかに記載の方法をコンピュータに実行させる、プログラム。